

1 デュアルシステム型現場実習

12月17日(水)に2学期最後の専門教科の時間にデュアルシステム型現場実習や校外実習が下記のとおり行われました。

- ①多良見町丸尾二区公民館清掃とワックスがけ:2・3年生9名
(ハウスクリーニングコース)
 - ②ホームドライ長崎本社でのクリーニング作業等:2年生2名(ウエアクリーニングコース)
 - ③長崎県生活協同組合での商品ピッキング:2・3年生2名(事務流通コース)
 - ④A コープでの野菜・果物の店頭販売及び店内商品陳列:1年生11名
(食品加工・接客コース、事務流通コース)
 - ⑤たらみ図書館での校外喫茶:2・3年生6名(食品加工・接客コース)
 - ⑥ヨシケイ長崎での野菜のカット・計量・袋詰め:2年生2名(食品加工・接客コース)
- 地域社会の皆様のご理解とご協力のおかげで、総勢32名の生徒が企業等で実習しながら学んだり、地域の中で学校での成果を発揮したりすることができました。
- 学習の様子を数か所視察して感じた本校の魅力は以下のとおりです。
- ◎生徒が高度な専門的技術や知識を実践的に学ぶ機会
 - ◎まだ経験していない社会で求められる資質や能力について実践を通して学ぶ機会
 - ◎生徒の「こうなりたい」「何が自分に向いている」「こうすればいいのかも」など生徒の「キャリア発達」を促す上で重要な学習の機会
 - ◎地域社会と学校とが一体となって生徒の成長を支える仕組み

2 KIBOU タイム(総合的な探究の時間) 発表会

12月18日(木)にKIBOU タイムの発表がありました。1年生のテーマは「様々な人との交流」です。

- ① 1年1組:長崎スタジアムシティでの交流
- ② 1年2組:シーサイド高齢者サロンでの交流
- ③ 1年3組:長崎大学教育学部での交流
- ④ 1年4組:西諫早幼稚園での交流

講評では次のような話をしました。

「知る」ということ。1年生のテーマは「様々な年代、職業の人との交流」ですが、それぞれの人との交流を通して、その人(高齢者や大学生、保育園児、働く人)の苦勞や喜びを「深く知る」ことになった。人の話を聞いたり、質問したりしながら「深く知る」ことはこれからの進路実現に向けても大切にしてほしい。